

血縁同種造血幹細胞移植ドナー様へのペグフィルグラスチム使用の有用性の

検討 に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

HLA 半合致移植例の増加に伴い、近年当院でも血縁末梢血造血幹細胞移植症例が増加している。そのような中で、2022年2月から血縁ドナーからの末梢血造血幹細胞動員の際に、PEG化G-CSF(PEGフィルグラスチム)が使用可能となった。PEGフィルグラスチムによる血縁ドナーからの末梢血幹細胞採取例について、従来からのG-CSF製剤での末梢血幹細胞採取例と比較しながら、有効性や利点について、比較検討する。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

診療録に記載されている情報から、実際に採取されたCD34陽性細胞数や、副作用、採取回数、入院日数、ドナーに対する負担などを比較する。特に、ペグフィルグラスチムを使用することによって、ドナーへの負担の軽減が得られることが予想されることから、比較検討したデータを基に、今後のドナーからの造血幹細胞採取の際に有用な情報となると考えている。

対象者・期間

2018年から2023年8月までの間の、当院で同種末梢血造血幹細胞が行われた際の、血縁の移植ドナーを対象とした。全33ドナーが対象となる。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 血液内科

担当医師：黒羽高志

〒940-2085 新潟県長岡市千秋2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)